

自然環境保護・保全事業

セブン-イレブンみどりの基金は、日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に受け継いでいくために、さまざまな団体とパートナーシップを組み、自然環境の保護・保全活動を推進しています。また、平成17年度は、2年後の自然学校開校を目指し、大分県九重町に「九重ふるさと自然学校(仮称)開校準備室」を開設しました。

富士山地域環境保全活動

セブン-イレブンみどりの基金は、不法投棄ごみや経済優先の開発による自然破壊などの問題を抱えていることから、日本の環境問題の縮図とされる富士山地域の環境問題に、設立以来継続して取り組んでいます。平成17年度は、環境パートナーシップ協定を締結したNPO法人富士山クラブとともに富士山地域の清掃活動や森づくり、環境学習、「富士山の日シンポジウム」などを行いました。



富士山2合目「西白塚の森」で行われる森づくり活動



取得した湿原では植生調査などの保護プログラムを実施

霧多布湿原保全運動

認定NPO法人霧多布湿原トラストとパートナーシップ協定を結び、北海道の霧多布湿原の保全活動を行っています。霧多布湿原の民有地をナショナルトラストによって買い上げ、保全する活動の一環として、平成17年度は39haの民有地取得を支援し、当基金の支援で霧多布湿原トラストが取得した湿原の面積は累計184haになりました。

日光杉並木保護活動

(財)日光杉並木保護財団とともに、約1万3000本の日光杉並木の保護活動を行っています。平成17年度は昨年度に引き続き、周辺の環境悪化などにより弱った栃木県今市市内の例幣使街道沿いにある並木の杉の樹勢回復事業に取り組みました。



木柵を作り土を施すことで、露出した杉の根を保護

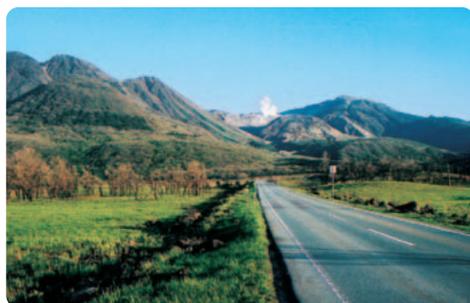
自然学校設立準備

セブン-イレブンみどりの基金は、「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に、自然環境の保護・保全や環境保全型農業体験学習を行う「九重ふるさと自然学校(仮称)」を平成19年に大分県玖珠郡九重町に開校する予定です。これに向けて、平成17年8月に開校準備室を開設しました。開校準備室では、トキのすめる環境を考えることで人と自然の関わりを再考



トキ子ども大使

する「トキのすめる里づくり」をテーマに、九重町の小中学生をトキの保護施設がある新潟県佐渡島に派遣する「トキ子ども大使」や、「日中トキ・シンポジウム」を実施しました。



平成17年11月にラムサール条約の登録湿地となった九重町のタテ原湿原